

2016 Seki Super Global High school research project presentation

日時:平成28年2月16日(火)

場所:本校体育館

出席者:SGH運営アドバイザー:野村総合研究所 上級コンサルタント 小池 純司 氏

:富士通総研 シニアコンサルタント 若尾 幸也 氏

岐阜県教育委員会 :学校支援課 吉田 梓 課長

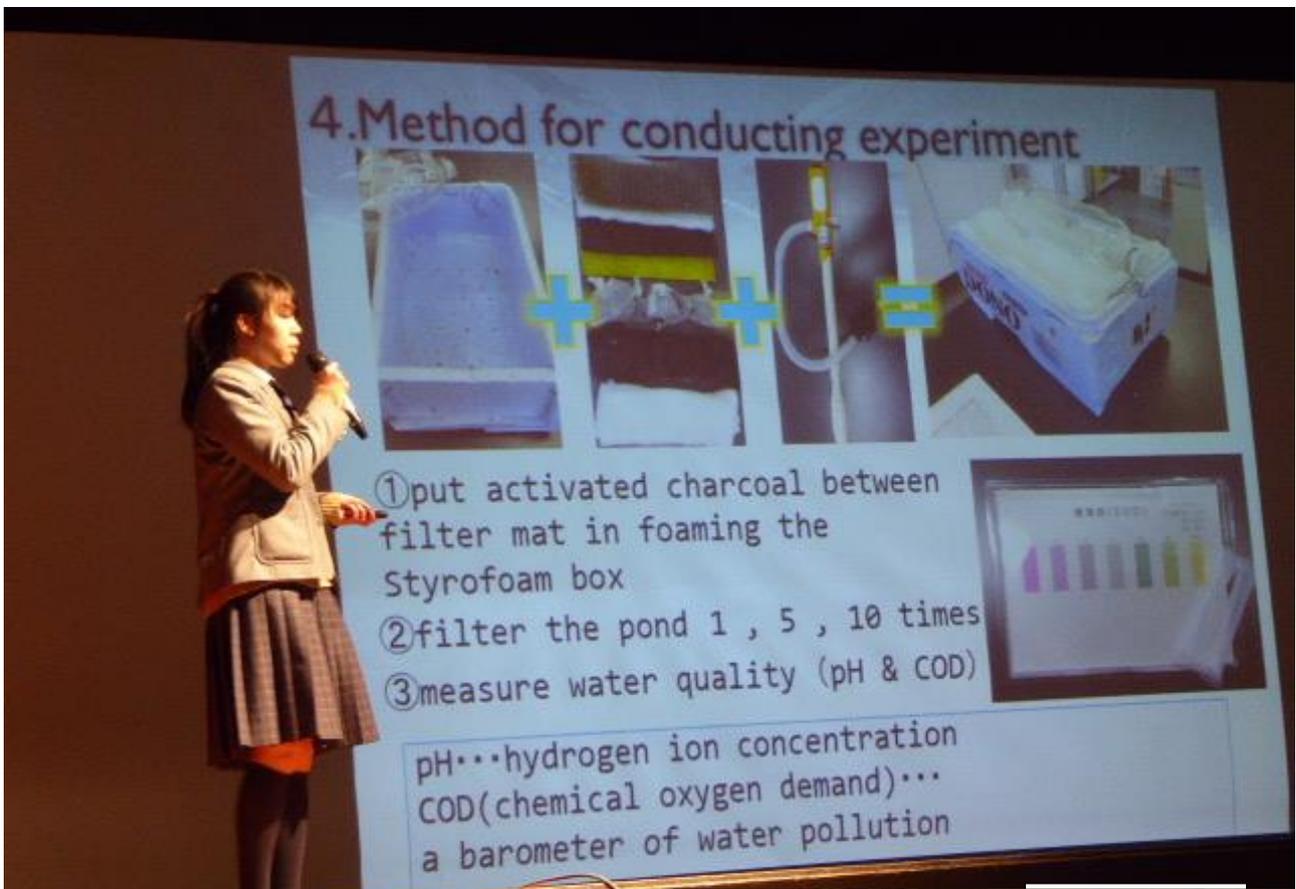
小栗 英幸 教育主管

石神 政幸 課長補佐

森岡孝文 課長補佐

> 2年生のSGH課題研究発表会が司会、挨拶、紹介、プレゼン、講評に至るまで、

“All English”、すべて英語を使用して行われました！



発表代表者以外の2学年全員はポスタープレゼンとして英語のポスターを掲示しました

■ 研究発表テーマ一覧

①The right to vote and us.

選挙権が与えられても誰に投票すればいいのかわからない。まず政治自体に関心を持たないといけない。その具体的な方法をこのプレゼンで提案し、それが若者の投票率増加につながると信じている。

②The relation of the green lights and traffic jams.

車の渋滞と信号の関係から、渋滞を緩和する信号について研究した。身近な交差点を観察し、そこから考察している。

③How to decide the price.

商品の「価格」に注目し、どのように価格を決定するのかを調べた。そして自分で作ったハムチーズパンに実際に価格を設定し、アンケート調査を通して考察した。

④A study of a pond where fish inhabit.

関高校内の中庭にある人工池をフィールドとして、魚の棲みやすい条件について①浄化装置を用いた実験、②植物を用いた実験を行い、水質（COD、窒素化合物量）の変化について考察した。

⑤The research of gorillas in higashiyama zoo.

さくら塾での講義をきっかけに5人による共同研究を始め、東山動物園などに数回出かけ、フィールドワークを行った。京都大学の研究室等と連絡して研究を進めている。

⑥Making English the official language of Japanese companies.

企業の「英語の公用化」について、「英語習得にかかる時間」「仕事力」「母国語の大切さ」の3つの観点から、具体的事例を挙げて考察を行った。

⑦Creation of artificial intelligence.

今回は自分で「自ら動作するAI」を開発した。ここで、テニスのようなルールのゲーム上で動くAIを1からプログラミングした。AIはボールの動きから相手コートへ返球するルーチンで動く。

⑧The research project of Rebun island.

北海道礼文島で行われた浜中2遺跡の国際共同発掘調査に参加し、浜中2遺跡で大量に出土した石器について考察した。

⑨The research project of Vietnam.

課題解決型研究のフィールドワークとして、アジアベトナムを実際に訪問し、個々の課題、テーマに即した現地調査やその観察、関係者へのインタビュー等を行うこと、及び海外での異文化体験により教育的かつ客観的な成果について報告をしました。

⑩The research project of The United Kingdom.

イギリス、ロンドンのヘイドン校を訪問し姉妹校提携及び現地高校生との相互交流、オックスフォード大学訪問と大学生との交流について報告をしました。



■ アドバイザーからの助言・指導

- ・イントネーションがとてもよく、日本人が英語を話すと抑揚がなく、多くの人たちは早く話し過ぎてしまったり、フラットな話し方をしてしまいがちだが、話のスピードや間の取り方などのデリバリーに関しても大変良かった。
- ・論理的なプレゼンテーションであった。どのプレゼンテーションも短い時間の中で、明確に伝えることができている、聞いている人も理解のできる内容だった。
- ・プレゼンテーションで大切なことは、オーディエンスに伝えるということで、シンプルにわかりやすく、そして気づいてもらうこと。そういったところに気を付ければ、プレゼンテーションはさらに良いものになる。
- ・生徒が英語で話している姿に感動した。
- ・意欲的なテーマが多かった。英語の基礎的な力があると感じた。
- ・グローバルリーダーを育成していくために、もっとグローバルに注目した、移民問題や格差問題などの国際的な問題解決につながるテーマに注目してもいいと思う。
- ・テーマに沿った形で講演会の講師を探すとよい。
- ・プロジェクトを楽しんでやっていくことが重要。自分が調べたものに関心を持って、大学でも学ぶようになるといい。
- ・仕事でも応用できる、とても面白い題材が多かった。
- ・これからは変化に対応していく人材が求められている。まず観察、そして課題を見つけ、仮説を立て、物事を対比させていくことが必要で、それがプレゼンテーションに現れていた。
- ・高校と大学の学びの違いを知ってもらい、高大接続に結びつくようなアドバイザーを探すとよい。
- ・授業の中で海外とネットで繋げるなど、SGHの内容を取り上げて効率化を図っていくとよい。
- ・グローバルがまだ遠い感じがする。問題意識を持つことが大事で、高校生のインターンシップなどを活用していくとよい。
- ・系統的にどのようなメッセージを出していくかが大事。
- ・外部からの人材を役立てることを考えてほしい。
- ・下級生は上級生を見て育っていくので、1年生が参加していなかったのは残念だった。
- ・プレゼンテーションは驚くほど素晴らしく、興味を引くものだった。
- ・グローバルなリーダーになるためには、世界のことを知り、コミュニケーションスキルを身に付け、協力をし、挑戦していくことや異文化理解も大切。

■ 生徒の感想

- ・アオコが水の富栄養化した際見られることは知っていましたが、ここまで魚に影響を及ぼすことは知りませんでした。pH値とCODという基準を使って実験結果が発表されたので分かりやすかった。スタレと浄化装置の結果を見て、自然の湖沼に対しても実践できるのか興味を持ちました。
- ・日本が世界に進出するために英語が話せるということは重要だと思いました。しかし、英語を優先して日本語を学ぶことを疎かにしてはいけないと思いました。
- ・去年に引き続きさらにパワーアップしたプレゼンだった。AIのしくみ、実際に作ったゲームでどのような動きをするのか、これからAIがどのように変わっていくのか、それがしっかりと発表されていた。とても素晴らしいと思った。